



短歌

竹内 桃子

一、この夏は暑さに負けそう
弱音を誰かにぶつきたい秋風恋し

一、梅雨空を吹き飛ばしたくて
ポーナスで夏のサンダル買い求める



一人暮らしのこと

柳原 昭三



とうたす通信の3月号に「来年度に期待」の中に一人暮らしのことを少し書きました。原稿を書いた以降に、障がい者支援課と話し合いを2回持ちました。

僕は、西東京自立支援センターのプログレスケアセンターから介護者を派遣してもらい24時間介護で、一人暮らしをしたいと思っていたのに、支援課は、小平市では65歳以上の障がい者が、重度訪問介護制度を使って24時間介護で一人暮らしをする場合、下記の2つの要件を満たしていないとダメだと言われてしまい、大きい高い壁があることがわかりました。

①医療的ケアが必要な人だけ申請を受け取る。

僕みたいに、医療的ケアを受けていない人は、重度訪問介護制度を使って24時間介護で一人暮らしをするのができないことがわかりました。

②介護保険が優先で、サービス利用料金を9割くらい使っていないと重度訪問介護制度が認められません。

僕の場合は、介護保険のサービス利用料金の限度基準額が、3万6千円ぐらいで、今現在は、約8千円位しか使っていない状態です。グループホームで住んでいるので、介護のところのサービスを全然使っていない状態です。

介護保険の介護者との外出は、行き先が決められていて、市役所・障がい者支援課に書類を提出しに行く時、病院に行く時、日用品を買い物に行く時、その3つしか認められていません。市役所とか障がい者支援課に行く機会は、年に1～3回しか行く用事がないのが現状です。病院も半年に1～2回しかないので、介護のサービスで9割以上の達成は絶対に困難ということが判明しました。

これからは、障がい者の自立に強い弁護士さんと一緒になって、市との交渉を進めていきます。交渉で重度訪問介護の利用を絶対に勝ち取って、一人暮らしを始めたいです。

これからの65歳以上の重度障がい者が、小平市で24時間介護を使い一人暮らしを始めたいと思っている人のためにも今僕が戦わなくてはと思っています。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市中島町3-8
TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.341
2023年7月20日

「ネコ」

詩集

ネコを飼っている家族

ネコは可愛くてたまらない

家族の一員だよ

ネコは犬より飼いやすい

犬は散歩をしなくてはいけないけど

ネコは朝窓を開けたら

ネコが自然に出て

夕方に窓を開けたら

自然に帰ってくる

僕が飼うなら

ネコがいい



Shozo